

2023 年度 英語科 シラバス

教科	英語	科目	英語	単位数	5	年次/コース	SS
使用教科書	NEW HORIZON English Course 2						
副教材など	新中学問題集 標準編 スタディサプリ スタディサプリ English						

1. 学習の到達目標

<p>●科目について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. はっきりと話されれば、日常的话题について、話の概要を聞き取ることができる。 2. 日常的话题について、簡単な語句や文で書かれたまとまりのある文章の概要をとらえることができる。 3. 日常的话题について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。 4. 日常的话题について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができる。 5. 日常的话题について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を書くことができる。 <p>●コンピテンシーについて</p> <p>1年生で学んできた基礎的な英語をアウトプットしていくことを頑張っていきましょう。英語を使ってコミュニケーション力を高めていけるように学んでいきましょう。</p>

2. 学習方法について

<p>●授業中において</p> <p>教科書の学習・問題集の学習・オンライン英会話を効果的に活用していきます。 教科書で学んだ文法事項を問題集で積み重ね、それをオンライン英会話で使うというサイクルができれば英語力は間違いなく伸びます。 個々で英語力に大きな差があるのはもちろんです。自分のペースで、焦らずに頑張っていきましょう！</p> <p>●家庭学習において</p> <p>英語は毎日触れていくことで伸びていきます。課題はもちろんのこと、目標の英検級を目指してスタサブ English を積極的に進めていきましょう。</p>
--

3. 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	①：知識・技能	②：思考・判断・表現	③：主体的に学習に取り組む態度
----	---------	------------	-----------------

観 点 の 趣 旨	<p>【知識】</p> <p>英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。</p> <p>【技能 聞くこと・読むこと】</p> <p>実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について書かれた（話された）短い文章等を読んで、その内容を捉える技能を身に付けている。</p> <p>【技能 話すこと・書くこと】</p> <p>実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて話したり、書いたりする技能を身に付けている。</p>	<p>【聞くこと・読むこと】</p> <p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題についてははっきりと書かれた（話される）文章を聞いて、必要な情報や概要、要点を捉えている。</p> <p>【話すこと・書くこと】</p> <p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、話したり、書いたりしている。</p>	<p>【聞くこと・読むこと】</p> <p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手（書き手）に配慮しながら、主体的に英語で話される（書かれた）ことを聞こう（読もう）としている。</p> <p>【話すこと・書くこと】</p> <p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に英語を用いて書こう（話そう）としている。</p>
	<p>・定期テスト</p> <p>・小テスト</p> <p>・授業中の言語活動の取り組み状況</p> <p>・パフォーマンステスト</p>	<p>・定期考査</p> <p>・小テスト</p> <p>・授業中の言語活動の取り組み状況</p> <p>・パフォーマンステスト</p>	<p>・宿題の提出状況</p> <p>・授業ノート</p> <p>・授業中の言語活動の取り組み状況</p> <p>・パフォーマンステスト</p> <p>・スタディサプリ English</p>
<p>上に示す観点・評価方法に基づいて、各観点で評価し、学期末に当該学期の観点別学習状況の評価(A、B、Cの3段階)及び評定(1～5の5段階)にまとめます。また、学年末に年度を通しての観点別学習状況の評価(A、B、Cの3段階)及び評定(1～5の5段階)にまとめます。</p>			

4. 学習の活動

学 期	単元名	学習内容	主な評価の観点			単元（題材）の評価規準	評価方法
			①	②	③		
1 学 期	教 Unit 0	動詞の過去形、過去進行形、There is [are] ….	○		○	<p>・過去形や過去進行形を用いた文、There is [are] …. の文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>・思い出を伝えるために、自分の経験について簡単な語句や文を用いて書いたり話したりしている。</p> <p>・過去形や過去進行形、There is～を用いて英作ができる、発展レベルの長文を理解できる。</p>	定期考査 P 課題 取り組み
	新 第1章	一般動詞過去形	○	○	定期考査		
	第2章	be 動詞の過去形					
	第3章	過去進行形					
	第7章	There is ～の文					

	教 Unit 1	be going to～、助動詞 will SVOO、SVOC	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ be going to、will、を用いた文 SVOO、SVOC の形・意味・用法を理解している。 ・おたがいの予定などを知るために、休暇や週末の予定について質問したり答えたり、自分の意志を伝えたりしている。 ・ be going to や will を用いて英作ができる、発展レベルの長文を理解できる。 	定期考査 P 課題 取り組み
	新 第 4 章	未来の文	○	○		定期考査
	教 Unit 2	接続詞 when、if、that、because	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・接続詞 when、if、that、because を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ・いつするか、どうしたらするかなど時や条件について、自分が考えていること、理由などについて簡単な語句や文を用いて、伝え合ったり書いたりしている。 ・接続詞を用いて英作ができる、発展レベルの長文を理解できる。 	定期考査 P 課題 取り組み
	新 第 13 章	第 1 3 章 接続詞	○	○		定期考査
	教 Unit 3	不定詞（副詞的用法、名詞的用法、形容詞的用法）	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・不定詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ・おたがいの夢を知るために、夢実現のためにしていることなどの情報を整理し、簡単な語句や文を用いて伝え合っている。 	定期考査 P 課題 取り組み
	新 第 11 章	不定詞	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・職業についてよく知るために、仕事の内容などについて書かれた文章の概要を捉えている。 ・不定詞を用いて英作ができる、発展レベルの長文を理解できる。 	
2 学 期	教 Unit 4	have to～、don't have to～、助動詞 must、must not、動名詞	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ have to、助動詞 must、動名詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ・ホームステイの際にしなければならないことやしてはいけないことを理解したり伝えたりしている。 ・事実や書き手の気持ちを整理して体験談の概要をとらえたり、アドバイスを書いたりしている。 	定期考査 P 課題 取り組み
	新 第 5 章 第 12 章	助動詞 動名詞	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・助動詞、動名詞を用いて英作ができる、発展レベルの長文を理解できる。 	定期考査
	教 Unit 5	疑問詞 + to～、主語 + be 動詞 + 形容詞 + that～	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・疑問詞 + to を用いた文、主語 + be 動詞 + 形容詞 + that～の形・意味・用法を理解している。 ・どのようにしたらよいかを知るために、使い方ややり方について書かれた文章から必要な情報を捉えている 	定期考査 P 課題 取り組み

	新 第9章 第10章	代名詞 いろいろな疑問文	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・確信や喜びの気持ちを理解したり伝えたりする技能を身につけている ・代名詞、疑問詞を用いて英作ができる、発展レベルの長文を理解できる。 	定期考査
	教 Unit 6	比較表現(～er、 the～est、more ～、the most～、 as～as)	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・比較表現を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ・事実や気持ちを伝え合うために、複数のものを比較して、簡単な語句や文を用いて伝えたり相手からの質問に答えたりしている。 	定期考査 P 課題 取り組み
	新 第16章 第17章	比較(1) 比較(2)	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・比較表現を用いて英作ができる、発展レベルの長文を理解できる。 	定期考査
3 学 期	教 Unit 7 新 補講①	受け身 受動態			<ul style="list-style-type: none"> ・受け身の文の形・意味・用法を理解している。 ・世界遺産などについて理解したり伝え合ったりするために、事実や行為者などを整理し、紹介された文章の概要を捉えたり、相手からの質問に答えたりしている。 ・受け身の表現を用いて英作ができる、発展レベルの長文を理解できる。 	定期考査 P 課題 取り組み 定期考査